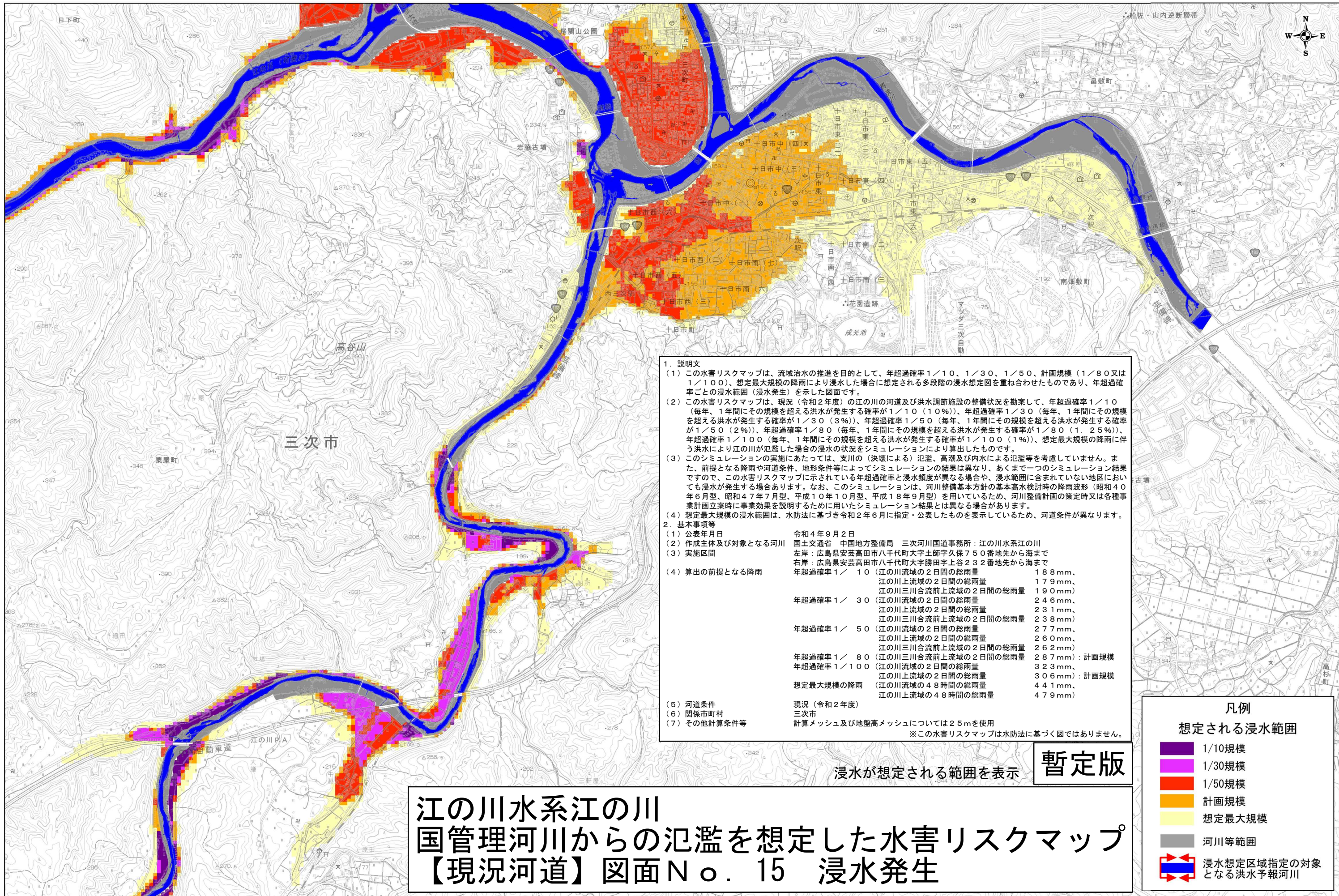




1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、計画規模(1/80又は1/100)、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況(令和2年度)の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))、年超過確率1/80(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/80(1.25%))、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和40年6月型、昭和47年7月型、平成10年10月型、平成18年9月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

(4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和4年9月2日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所：江の川水系江の川
左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保750番地先から海まで
右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷232番地先から海まで

(3) 実施区間

(4) 算出の前提となる降雨

年超過確率1/10	(江の川流域の2日間の総雨量	188mm、 江の川上流域の2日間の総雨量	179mm、 江の川三川合流前上流域の2日間の総雨量	190mm)
年超過確率1/30	(江の川流域の2日間の総雨量	246mm、 江の川上流域の2日間の総雨量	231mm、 江の川三川合流前上流域の2日間の総雨量	238mm)
年超過確率1/50	(江の川流域の2日間の総雨量	277mm、 江の川上流域の2日間の総雨量	260mm、 江の川三川合流前上流域の2日間の総雨量	262mm)
年超過確率1/80	(江の川三川合流前上流域の2日間の総雨量	287mm)：計画規模		
年超過確率1/100	(江の川流域の2日間の総雨量	323mm、 江の川上流域の2日間の総雨量	306mm)：計画規模	
想定最大規模の降雨	(江の川流域の48時間の総雨量	441mm、 江の川上流域の48時間の総雨量	479mm)	

(5) 河道条件 現況(令和2年度)

(6) 関係市町村 三次市

(7) その他計算条件等 計算メッシュ及び地盤高メッシュについては2.5mを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



江の川水系江の川 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ 【現況河道】図面No. 15 浸水発生

